

9月も第1週が過ぎ、涼しく過ごしやすい季節になりました。3年生はいよいよ進路決定の時期。そして学校全体では学園祭に向けて準備が始まりました。学園祭のテーマ：「仁」の通り、3年生をはじめとした優しい心持ちの皆さんがつくる、あたたかな学園祭に期待しています…！

◎3年生：「就職差別」に遭わないために

就職・進学試験が間近に迫っている3年生の皆さん、「差別につながる不適切な質問事項」を見抜き、自分の身を守ることができるよう、1学期のホームルーム活動を思い出しておきましょう！



感想より

- ☞面接試験で差別があるなんて思ってもみませんでした。先生方が面接をロールプレイでしてくださったとき、自分は「問題ない」と思っていたことが、憲法の「平等」や「自由」などに反していけないものだということがあり、驚きました。
- ☞企業の方からの質問には絶対に答えないといけないと思っていたので、この学習を受け、断る勇気と気づくことのできる知識を持ちたいと思いました。

面接試験で問われるのは、あなた自身の能力や適性です。「本籍・出生地」、「家族」、「住宅状況」、「宗教」、「支持政党」に関することなど14事項は、採用するうえでは必要のない情報です。企業や大学等に対しては、差別的な選考をしないよう、島根県や公共職業安定所（ハローワーク）などがあらかじめ通知しています。あわせて、新型コロナの「ワクチン接種歴」（接種の有無や接種回数）も、就職・進学試験時に申告する必要はありません（ワクチン接種は個人の意思によるもので、体調等により接種できない人もいますから）。

万一、不適切な質問があったときには、

『学校の指導により、お答えすることができません』

と、勇気をもって伝えましょう！

それでも緊張していて答えてしまったり、試験が終わってから「ひょっとして差別につながる質問だったかもしれない」と感じたりしたときには、学校に報告してください。生徒の皆さんの不利にならないよう、差別的な選考にならないよう、学校が対応していきます。学校が皆さんを守りますので、皆さんは自信を持って堂々と受験をしてきてくださいね。

◆進路指導部長：長谷川先生より

3年生のみなさん、試験が近づいてきましたね。不安な気持ちも大きいと思いますが、どんな質問をされたとしても、自分なりの意見や答えを準備しておけば、大丈夫です。自信を持って答える練習をしましょう。そして、体調管理をしっかりして受験に臨みましょう。

☆☆仁心祭「じんけんトーク」企画☆☆ 質問募集中！

今年度は仁心祭にゲストをお招きし、「多様な性と自分らしい生き方」をテーマにお話をさせていただくことにしました！『性的マイノリティ』の「当事者」として、どのような高校生活あるいは社会人としての生活を送ってこられたのかをお話ししていただきます。皆さん自身の生き方・あり方を考えるうえでヒントになることがたくさん聴けるはず…！どうぞお楽しみに！

講師プロフィール

*^たが^のりか^か 多賀 法華 さん（雲南市在住）

<SOGIESC> 体の性：女性
性自認（心の性）：真ん中らへん
性的指向（好きになる性）：女性
性表現：体操服、ジャージ、作務衣

<経歴> 1979年 島根県雲南市の山奥の寺の長女として生まれる。地元の小、中、高校を卒業
大学に入学するが、1年も経たずに中退。その後、介護の仕事に従事。
2016年 介護の仕事を辞め、地域の交流センターの生涯学習推進員、小学校の地域コーディネーターとして働く。
2017年 地元企業や小中高でLGBTQ講演会を少しずつ始める
2020年 雲南市議会議員に当選
2021年 島根のちょっこしLGBTQ相談室を仲間とともにつくる

<趣味> 漫画を読むこと、銭太鼓、和太鼓、神楽



*^さと^う 佐藤 みどり さん（松江市在住）

<SOGIESC> 体の性：女性
性自認（心の性）：男性に近い
性的指向（好きになる性）：女性
*ホルモン注射や性別適合手術は望んでいない

<経歴> 大学卒業後、島根県警察官になり、11年間勤務。
彼女との婚約破棄をきっかけに人生を見つめ直す。
「自分らしく生きられない人生を変えたい」と思い、
令和4年3月末に退職。

現在、オンラインコミュニティ運営、コーチング、講師、
モデルなど、セクシュアルマイノリティの理解が深まるための活動を行っている。

<趣味> サウナ、旅行、カラオケ



<この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇>